

# ES/1 NEO

MFシリーズ

## V05L21R1

# Release News Letter

## 日立システム

### 目次

#### 【お知らせ】

ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて  
PC製品 サポート終了のお知らせ

#### 【HOST】

資源使用量比較一覧	
リリースニュースレター機能一覧 プロセッサ別	… 1
リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別	… 2
MF-eASSIST	… 3

 株式会社 アイ・アイ・エム

本リリースニュースレターは、V05L21R1 のリリース内容をまとめたものです。過去のリリース内容につきましては、プロダクトメディア (x:¥Rnl) 内のレターをご参照ください。

# 改版履歴

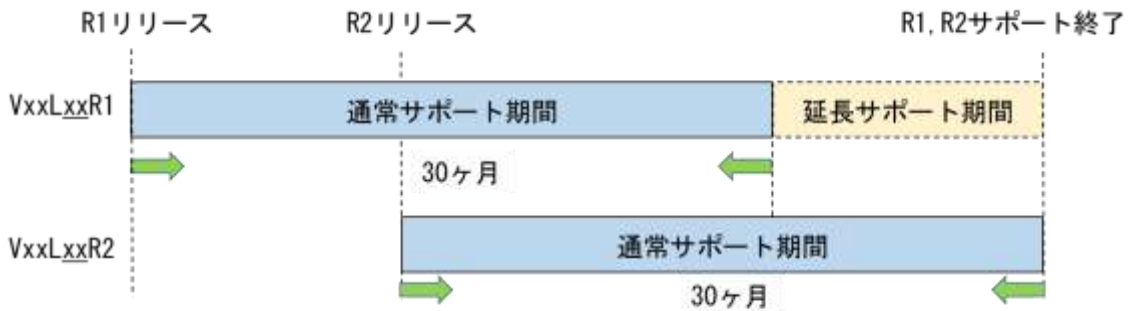
---

日付	版数	内容
2021/10/28	1	V5L21R1 リリース

# ES/1 NEO MF シリーズのサポートについて

各バージョンの通常サポート期間はリリースより 30 ヶ月間です。

バージョンはバージョン、レベル、リビジョンからなり、レベルを基準とします。後継リビジョンのリリースに伴い、旧リビジョンのサポートは延長されます。



## <バージョン（バージョン・レベル・リビジョン）の確認方法>

ES/1 実行ログにて確認できます。

例) V05L20R3 の場合

V 0 5 L 2 0 R 3  
バージョン レベル リビジョン

```
LICENSEE ----- TRIAL USER
EXPIRATION DATE ----- 2020/11/30
VERSION/LEVEL/REVISION ---- 05.20.03
```

## <今後のサポート予定>

今後のサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース時期	サポート終了予定時期
V05L21R1	2021年10月	2024年4月
V05L20R3	2020年11月	2023年5月
V05L20R2	2019年11月	2023年5月
V05L20R1	2019年3月	2023年5月

## <通常サポート中とサポート終了後の違い>

サポート終了後のバージョンも継続してご利用いただけます。

但し、不具合に対応した修正パッチは、最新リリースまたはサポート期間中のバージョンに対してのみの提供となります。サポート終了後のバージョンをご利用中に発生した不具合の対応については、原則として最新バージョンに対応した修正パッチを提供させていただきます。

	サポート期間中	サポート終了後
当該バージョンの継続使用	可	可
製品の使用方法に関するご質問	可	可
不具合発生時の調査	可	可※
不具合修正パッチの提供	可	不可

※ナレッジベースでの調査となります。

## <バージョンアップのお願い>

通常サポート期間を終了したバージョンについては、限定的なサポートのみの提供となります。最新バージョンへのバージョンアップのご検討をお願いいたします。

以上

# PC製品 サポート終了のお知らせ

現在、MF-eASSIST でサポートしています次のアプリケーションを、V05L21R1 (2021 年 10 月)にてサポート終了とさせていただきます。

<サポート終了アプリケーション>

Microsoft® Excel2010 / Word2010

また次のアプリケーションを、2022 年 7 月 31 日にてサポート終了とさせていただきます予定です。

<サポート終了アプリケーション>

Internet Explorer 8~11

V05L21R1 では、MF-eASSIST の対象環境は次の通りとなります。

<オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 8.1

Microsoft® Windows® Server 2012

Microsoft® Windows® Server 2012 R2

Microsoft® Windows® 10

Microsoft® Windows® Server 2016

Microsoft® Windows® Server 2019

<アプリケーション>

Microsoft® Excel2013 / Word2013

Microsoft® Excel2016 / Word2016

Microsoft® Excel2019 / Word2019

Internet Explorer 8~11 (※2022 年 7 月 31 日まで)

Windows Edge

Google Chrome

.NET Framework 4.5.2 以上

以上

## ES/1 NEO MFシリーズ V05L21R1 資源使用量比較一覧

本資料は、ES/1 NEO MFシリーズ V05L21R1 と、以前のリリース（V05L20R3）との資源使用量比較一覧です。  
各項目の意味は以下の通りです。

CPU	以前のリリースと比較し、CPU時間が1割以上増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。
STG	本体 以前のリリースと比較し、使用仮想記憶域が増加した量を示します。 この結果は、入力されるデータには関係ありません。
	データ 以前のリリースと比較し、上記本体の増分以上に使用仮想記憶域が増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。

		V05L20R3 vs V05L21R1		
		CPU	STG	
			本体(KB)	データ
MF-ADVISOR	CPECNVRT	—	0	—
	CPEPRT00	—	0	—
	CMOSPRT0	—	0	—
	HIBICHKO	—	0	—
	CPEREG00	—	0	—
	SMFPRT00	—	0	—
	CPEDSN00	—	0	—
	RAIDPRT0	—	0	—
	RAIDCNFO	—	0	—
	SADPRT00	—	0	—
	XDMPRT00	—	0	—
	VOLLSTHO	—	0	—
MF-MAGIC	CPEDBAMS	—	8	—
	BOXSYS00	—	0	—
	BOXSAD00	—	0	—
MF-SCOPE	JOBANLST	—	0	—
	JOBMONTH	—	0	—
	JOBDTL10	—	0	—
	AUDITPRT	—	0	—
	AUDITMON	—	0	—
	PNAVIADT	—	0	—
MF-PREDICT	PRDIOS00	—	0	—
	CPEDSN00	—	0	—
	CPEREG00	—	0	—
MF-AUDIT	AUDITPRT	—	0	—
	DSNCSV00	—	0	—
	AUDITMON	—	0	—
	PNAVIADT	—	0	—
MFシリーズ 支援ライブラリ	CPEDASD0	—	0	—
	CPEVOLGP	—	0	—
	CPETAPE9	—	0	—
	DSNCSV00	—	0	—
	TSSCSV00	—	0	—
	JOBDSNCV	—	0	—
MF-eASSIST	PNAVICEC	●	0	—
	PNAVISAD	●	100	—
	PNAVIXDM	—	0	—
	PNAVJOB0	—	0	—
	PNAVJOB1	—	0	—
	PNAVIVSP	●	0	●
	PNAVIADT	—	0	—

※本体の使用仮想記憶域の増加が大きい場合、該当の箇所の色を付けて表示します。

例.	MF-ADVISOR	CPEPRT00	—	124	—
		CMOSPRT0	—	4	—

注意：(1) 本資料は弊社環境（IBM環境）での結果に基づいています。環境により異なる場合がありますので、参考資料としてください。  
(2) 実行時に仮想記憶領域不足が発生する場合、OVER16機能をご使用ください。

【OVER16機能 指定方法】 実行するプロセッサのJCLに次のような指定を追加してください。  
REGIONサイズの指定は、お客様の環境に応じて変更してください。

```
//SHELL EXEC PGM=CPE SHELL, REGION=(,1024M), PARM=PARM <=追加・変更
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//SYSUDUMP DD SYSOUT=*
//SYSUT1 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK,(10,5))
//CPEPARM DD * <=追加
OVER16=SYMBOL <=追加
OSTYPE=#OSTYPE <=追加
```

OVER16機能の詳細につきましては「ES/1 NEO MFシリーズ 使用者の手引き 共通編（IBM / 富士通 / 日立システム）」  
'3.3.2 OVER16機能' をご参照ください。

既存プロセッサ

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-eASSIST	PNAVICEC	変更	1	データがない場合のインターバル毎の出力を統一						3	521-020
	PNAVISAD	不具合	2	業務グループ多数指定でリターンコード10または206終了						5	521-021

◇表項目の説明

- 非互換 :新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます
- 数値変更 :本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます
- 表示変更 :新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます
- スイッチ追加 :新規スイッチが追加された場合に●が付きます
- 特記事項 :OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

既存プロセッサ

変更一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-eASSIST	PNAVICEC	変更	1	データがない場合のインターバル毎の出力を統一						3	521-020

不具合一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-eASSIST	PNAVISAD	不具合	1	業務グループ多数指定でリターンコード10または206終了						5	521-021

◇表項目の説明

- 非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます
- 数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます
- 表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます
- スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます
- 特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

# MF-eASSIST

## PNAVICEC

### 521-020. データがない場合のインターバル毎の出力を統一

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

入力に対象データがない場合、フラットファイルにはゼロか欠損値のいずれかを出力します。しかし先頭インターバルとその後のインターバルで異なる値を出力していました。今リリースからその基準を定め、出力を統一しました。

#### 【対象項目】

【業務】レコード名：WKL

フィールド名	説明	データがない場合
RESP_AVG	平均応答時間(秒)	ゼロで出力
MPL_AVG	平均システム資源利用状況(MPL)	
TCB_AVG	平均システム資源利用状況(TCB%)	
MEM_AVG	平均システム資源利用状況(メモリ使用率%)	
RESP_CPU_AVG	平均応答時間内訳(CPU)(秒)	
RESP_SWAP_AVG	平均応答時間内訳(SWAP OUT)(秒)	
RESP_IO_AVG	平均応答時間内訳(I/O)(秒)	
RESP_MAX	最大応答時間(秒)	
MPL_MAX	最大システム資源利用状況(MPL)	
TCB_MAX	最大システム資源利用状況(TCB%)	
MEM_MAX	最大システム資源利用状況(メモリ使用率%)	
RESP_CPU_MAX	最大応答時間内訳(CPU)(秒)	
RESP_SWAP_MAX	最大応答時間内訳(SWAP OUT)(秒)	
RESP_IO_MAX	最大応答時間内訳(I/O)(秒)	

【業務サブグループ】レコード名：WKL\_SUB

フィールド名	説明	データがない場合
RESP_AVG	平均応答時間(秒)	ゼロで出力
MPL_AVG	平均システム資源利用状況(MPL)	
TCB_AVG	平均システム資源利用状況(TCB%)	
MEM_AVG	平均システム資源利用状況(メモリ使用率%)	
RESP_CPU_AVG	平均応答時間内訳(CPU)(秒)	
RESP_SWAP_AVG	平均応答時間内訳(SWAP OUT)(秒)	
RESP_IO_AVG	平均応答時間内訳(I/O)(秒)	
RESP_MAX	最大応答時間(秒)	
MPL_MAX	最大システム資源利用状況(MPL)	
TCB_MAX	最大システム資源利用状況(TCB%)	
MEM_MAX	最大システム資源利用状況(メモリ使用率%)	
RESP_CPU_MAX	最大応答時間内訳(CPU)(秒)	
RESP_SWAP_MAX	最大応答時間内訳(SWAP OUT)(秒)	
RESP_IO_MAX	最大応答時間内訳(I/O)(秒)	

【特定業務】レコード名：WKL\_TRC

フィールド名	説明	データがない場合
RESP_AVG	平均応答時間(秒)	ゼロで出力
MPL_AVG	平均システム資源利用状況(MPL)	
TCB_AVG	平均システム資源利用状況(TCB%)	



RESP_CPU_AVG	平均応答時間内訳 (CPU) (秒)
RESP_SWAP_AVG	平均応答時間内訳 (SWAP OUT) (秒)
RESP_IO_AVG	平均応答時間内訳 (I/O) (秒)
RESP_MAX	最大応答時間 (秒)
MPL_MAX	最大システム資源利用状況 (MPL)
TGB_MAX	最大システム資源利用状況 (TGB%)
RESP_CPU_MAX	最大応答時間内訳 (CPU) (秒)
RESP_SWAP_MAX	最大応答時間内訳 (SWAP OUT) (秒)
RESP_IO_MAX	最大応答時間内訳 (I/O) (秒)

## PNAVISAD

### 521-021. 業務グループ多数指定でリターンコード 10 または 206 終了

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

#### 【現象】

業務グループマクロ%PNSADGRP を 24 個以上指定した場合に、リターンコード 10 または 206 で異常終了していました。

#### 【原因】

展開したマクロおよびプロセッサソースを格納する領域 (TEXTPOOL) が不足するためでした。

#### 【対処】

領域を拡張し、条件を満たす場合でも正常終了するようにしました。